PHILIPS

Monitor

7000 Series

27E2F7901

JA

ユーザーマニュアル 1
カスタマサポートと保証 29
トラブルシューティング& FAQ 32

Register your product and get support at www.philips.com/welcome

目次

1. 重要 1
1.1 安全のための注意事項とメンテナンス 1
1.2 表記の説明 3
1.3 製品と梱包材料の廃棄 4

2. ディスプレイをセットアップする 5
2.1 取り付け 5
2.2 ディスプレイを操作する 7
2.3 MultiClient Integrated KVM 10
2.4 MultiView 12
2.5 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし 14

3. 画像の最適化 15
3.1 SmartImage 15
3.2 SmartContrast 17
3.3 色空間と色の値をカスタマイズする 17
3.4 Adaptive Sync 18
3.5 デイジーチェーン機能 19
3.6 HDR 21

4. 電源供給およびスマート電源 22

5. コンピューター視覚症候群 (CVS) を防止するための設計 23

6. 技術仕様 24
6.1 解像度とプリセットモード 27

7. 電源管理 28

8. カスタマサポートと保証 29
8.1 Philips のフラットパネルディスプレイ画素欠陥ポリシー 29
8.2 カスタマサポートと保証 31

9. トラブルシューティング & FAQ 32
9.1 トラブルシューティング 32
9.2 一般FAQ 33
9.3 Multiview FAQ 35

1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philipsモニタを使用するユーザーを対象にしています。モニタを使用する前に、本ユーザーズマニュアルをよくお読みください。モニタの操作に関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips保証は、その操作指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電気的障害、機械的災害につながる可能性があります。

コンピュータのモニタを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

取り扱い

- モニターを直射日光やきわめて明るい光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。これらの環境に長時間さらされると、モニタが変色したり損傷する結果を招きます。
- ディスプレイにオイルが付着しないようにしてください。オイルは、ディスプレイのプラスチック製カバーを損傷させる可能性があります。その場合、保証は無効になります。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、モニタの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- モニタの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでモニタの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- 必ず、本製品に同梱されている電源コードを使用してください。 電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。（重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。）
- 指定された電源で動作させてください。必ず指定の電源でモニターを操作してください。誤った電圧で使用すると故障の原因となり、火災や感電の原因となります。
- AC アダプタを分解しないでください。AC アダプタを分解すると、火災や感電の危険がある可能性があります。
- ケーブルを保護してください。電源ケーブルや信号ケーブルを引っ張ったり曲げたりしないでください。モニターやその他の重いものをケーブルの上に置かないでください。ケーブルが損傷した場合、火災や感電の原因となることがあります。
- 操作中、モニタに強い振動を与えたり、衝撃を加えないでください。
- パネルがベゼルから外れるなどの損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。 -5度下向き傾き最大角度を超え、ディスプレイが損傷した場合、保証の対象外となります。
- 操作または輸送中、またLCDを強く打ったり落としたりしないでください。
- USB タイプ C ポートは、IEC 62368-1 または IEC 60950-1 に準拠する防火エンクロージャー付きの指定された機器にのみ接続することができます。
- モニターの過度の使用は目の不快感を引き起こす可能性があります。ワークステーションにおいて、あまり頻繁ではない長い休憩よりも短い休憩をとることをお勧めします。例えば、50 ～ 60 分の連続画面使用後の 5 ～ 10 分の休憩は、2 時間ごとの 15 分間の休憩よりも効果が高い可能性があります。 一定時間画面を使用している間、以下を行い、目の疲れから目を解放するようにしてください：
  - 長時間画面を注視した後は、さまざまな距離を見てみましょう。
  - 作業中に意識的に瞬きをしてみましょう。
  - ゆっくりと目を閉じ、目をキョロキョロさせて、目をリラックスさせてみましょう。
  - 画面をあなたの座高にあわせて、適切な高さと角度にしてみましょう。
  - 明るさとコントラストを適切なレベルに調整してみましょう。
  - 環境照明を画面の明るさに似た明るさに調整し、蛍光灯やあまり光を反射しない表面を避けましょう。
  - 症状がある場合は、かかりつけの医師に相談してみましょう。

メンテナンス

- モニタを損傷の可能性から保護するために、LCD パネルに過剰な圧力をかけないでください。 モニタを動すときは、フレームをつかんで持ち上げてください。またLCDパネルに手や指を置いてモニタを持ち上げないでください。
- オイルを主成分とする清浄液は、プラスチック製カバーを損傷させる可能性があります。その場合、保証は無効になります。
- 長時間使用しない場合は、電源ののプラグを抜いてください。
- 汚れのふき取りには、柔らかい布をご使用ください。 落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してモニタを洗浄することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、モニタを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- モニタが濡れた場合は、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- モニタに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。異物や水を取り除き、カスタマサポートにご連絡ください。
- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でモニタを保管したり、使用したりしないでください。
- モニタの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る環境でモニタを使用してください。
  - 温度：0 ～ 40° C 32 ～ 104° F
  - 湿度：20 ～ 80% RH

焼き付き / ゴースト像に関する重要な情報

- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。 静止コンテンツを表示している場合、定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。 長時間静止画像を表示すると、画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。
- 「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。 ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

警告

スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

修理

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- マニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。（重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。）
- 輸送情報については、「技術仕様」 を参照してください。
- 直射日光下の車内 / トランクにモニタを放置しないでください。

注

モニタが正常に作動しない場合、または本書に記載された手順が分からない場合、カスタマケアセンターにお問い合わせください。

1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告

本書を通して、テキストのブロックkにはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのブロックには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。

注

このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムをもっと有効に活用する助けとなるものです。

注意

このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法に関する情報を示します。

警告

このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を示します。

警告には代わりの形式で表示され、アイコンが付かない場合もあります。このような場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

注

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器-WEEE

This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new monitor contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the important of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

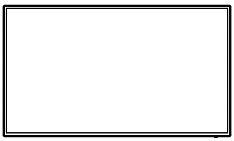
To learn more about our recycling program please visit

http://www.philips.com/a-w/about/sustainability.html

2. ディスプレイをセットアップする

2.1 取り付け

1 パッケージに含まれるもの



VESA Bracket

Screw
M4 x 4

AC/DC Adapter

*HDMI

*DP

*USB C-C

*USB C-A

*USB C-C/A

注

販売する国・地域により付属されるケーブルが異なることがございます。ケーブル付属は別紙のケーブル付属リストをご参照ください。

注

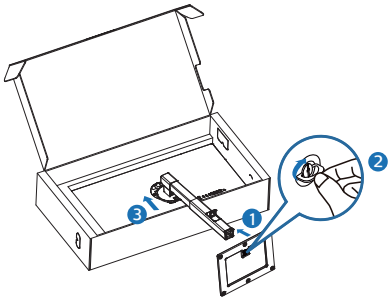
AC/DCアダプタモデルのみを使用：

FSP180-AJBN3-T

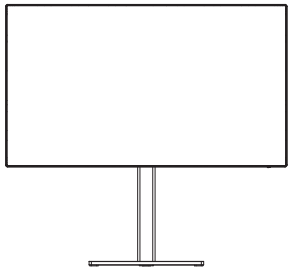
2 ベースの取り付け

1. モニタ面を下にして、滑らかな面に置きます。画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように注意してください。

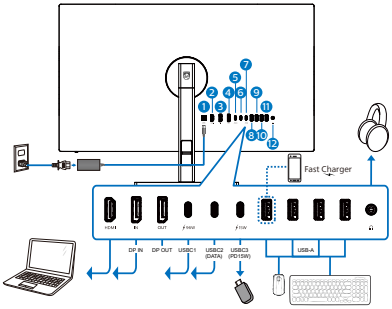
2. 両手でスタンドを持ちます。
   (1) ベースをスタンドにそっと取り付けます。
   (2) 指を使ってベースの底部にあるネジを締めます。
   (3) VESA マウント部の掛け金がロックされるまでゆっくりとスタンドを取り付けます。ベースを取り付ける場合、このモニターを十分に保護し、モニターの傷や損傷を防止するために、モニターを下向きに維持してください。

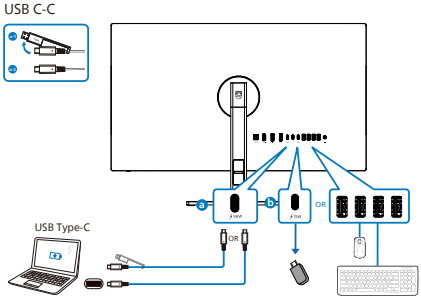


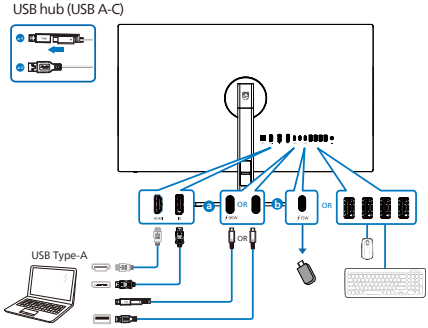
3. スタンドを取り付けたら、スタンドを両手で持ち、モニターを持ち上げます。



3 PCに接続する







❶ AC/DC 電源入力
❷ HDMI 入力
❸ DisplayPort 入力
❹ DisplayPort 出力
❺ USBC1 (PD 96W)
❻ USBC2 アップストリーム (DATA)
❼ USBC3 ダウンストリーム (15W)
❽ USB ダウンストリーム /USB 高速充電器
❾ USB ダウンストリーム
❿ USB ダウンストリーム
⓫ USB ダウンストリーム
⓬ オーディオ 出力

PCに接続する

1. 電源コードをディスプレイ背面にしっかり接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. ディスプレイ信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。
4. コンピュータとディスプレイの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとディスプレイの電源をオンにします。ディスプレイに画像が表示されたら、接続は完了です。

4 USB ハブ

国際的なエネルギー標準に準拠するために、このディスプレイの USB ハブ / ポートはスタンバイモードとオフモードの間、無効になります。

この状態のとき、接続されているUSBデバイスは動作しません。

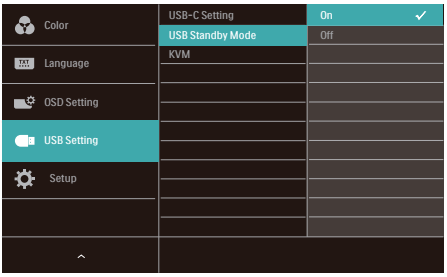
USB機能をずっと「オン」の状態にするには、OSDメニューに移動し、「USB待機モード」を選択し、これを「オン」状態に切り替えます

5 充電用USB

このディスプレイには USB ポートがあり、USB 充電など、標準的な電力を出力できます (パワーアイコン で識別可能)。そのポートからスマートフォンを充電したり、外付け HDD に電力を供給したりできます。この機能を利用するには、ディスプレイの電源を常に入れておく必要があります。

一部の Philips ディスプレイでは、 “スリープ” / モードモードに入ると、デバイスの給電 ・ 充電が停止することがあります (白のパワー LED が点滅します)。その場合、OSD メニューに入り、 “USB Standby Mode” を選択し、 “オン” に切り替えてください (初期設定はオフです)。これで、モニターがスリープ / モー

ド モードに入っても、USB 給電 ・ 充電機能が維持されます。



注

電源スイッチでモニターの電源を切った場合、すべての USB ポートがオフになります。

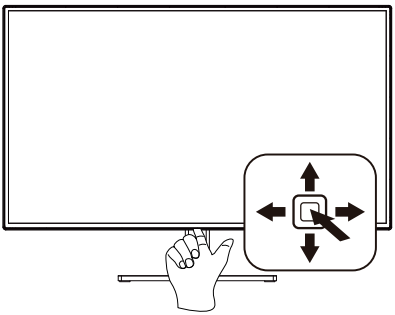
警告

無線式のマウス、キーボード、ヘッドホンなど、USB 2.4Ghz デバイスは USB 3.2 デバイスの高速信号により干渉を受け、その結果、無線送信の効率性が低下する可能性があります。その場合、次の方法で干渉を抑えてください。

- USB2.0 レシーバーを USB3.2 接続ポートから離す。
- 標準の USB 拡張ケーブルまたは USB ハブを利用し、無線レシーバーと USB3.2 接続ポートの間の距離を増やす。

2.2 ディスプレイを操作する

1 コントロールボタンの説明

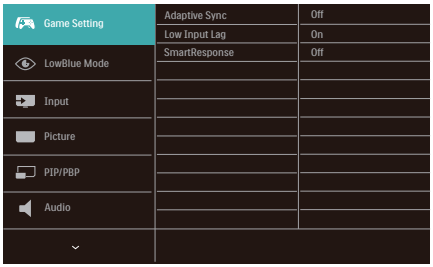


❶		押して、電源をオンに切り替えます。3 秒以上長押しして、電源をオフに切り替えます。
❷	→	OSD メニューにアクセスします。
		OSD 調整を確認します。
❸	↓	色空間の調整。
		OSD メニューを調整します。
❹	↑	信号入力ソースを変更します。
		OSD メニューを調整します。
❺	←	SmartImage ホットキー。次の 10 つのタイプから選択します：EasyRead、Office (オフィス)、Photo (写真)、Movie (動画)、Game (ゲーム)、Economy (エコノミー)、LowBlue Mode (LowBlue モード)、SmartUniformity (スマートユニフォーミティ)、D-Mode (D モード)、Off (オフ)。 モニターが HDR 信号を受信すると、SmartImage は HDR メニューを表示します。次の複数の選択肢があります：HDR HLG、HDR Vivid、HDR Movie (HDR 動画)、DisplayHDR 400、Personal (個人)、Off (オフ)。
		前の OSD レベルに戻ります。

2 オンスクリーンディスプレイの説明

オンスクリーンディスプレイ (OSD) とは

オンスクリーンディスプレイ (OSD) はすべての Philips LCD ディスプレイに装備されています。これにより、ユーザーは画面の指示に従って直接画面パフォーマンスを調整したりディスプレイの機能を選択することができます。OSD インターフェースは、次のように表示されます。



コントロールキーの基本および簡単な指示

Philips ディスプレイの OSD メニューにアクセスするには、ディスプレイベゼルの底面にあるシングルトグルボタンを使用するだけです。シングルボタンはジョイスティックのように操作します。カーソルを移動するには、ボタンを四方向に動かすだけです。ボタンを押して、希望のオプションを選択します。

OSD メニュー

以下は、オンスクリーンディスプレイのメニュー一覧です。後でさまざまな調整を行いたいときに、こちらを参照してください。

Main menu	Sub menu	
Game Setting	Adaptive Sync	On, Off
	Low Input Lag	On, Off
	SmartResponse	Off, Fast , Faster, Fastest
Low Blue Mode	On	1,2,3,4
	Off	
Input	HDMI 2.0	
	DisplayPort	
	USB C	
	Auto	
Picture	SmartImage	EasyRead / Office / Photo / Movie / Game / Economy / LowBlue Mode / SmartUniformity / D-Mode / Off
	SmartImage HDR	HDR HLG / HDR Vivid / HDR Movie / DisplayHDR 400 / Personal / Off
	Picture Format	Wide screen, 4:3, 1:1
	Brightness	0-100
	Contrast	0-100
	Sharpness	0-100
	Saturation	0-100
	SmartContrast	On, Off
	Gamma	1.8, 2.0, 2.2, 2.4, 2.6
	Pixel Orbiting	On, Off
	Over Scan	On, Off
PIP/PBP	PIP / PBP Mode	Off, PIP, PBP
	PIP / PBP Input	HDMI 2.0, DisplayPort, USB C
	PIP Size	Small, Middle, Large
	PIP Position	Top-Right, Top-Left, Bottom-Right, Bottom-Left
	Swap	
Audio	Volume	0-100
	Mute	On/Off
	Audio Source	HDMI, DisplayPort, USB C
Color	Color Temperature	Native, 5000K, 6500K, 7500K, 8200K, 9300K, 11500K
	Color Space	Display-P3, DCI-P3, DCI-P3 (D50), sRGB, Adobe RGB, Adobe RGB (D50), Rec. 2020, Rec. 709
	HDR Color Space	DCI-P3, Rec 2020
	User Define	Red: 0-100 Green: 0-100 Blue: 0-100
Language	English, Deutsch, Español, Ελληνική, Français, Italiano, Magyar, Nederlands, Português, Português do Brasil, Polski, Русский, Svenska, Suomi, Türkçe, Čeština, Українська, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어	
OSD Setting	Horizontal	0-100
	Vertical	0-100
	Transparency	Off, 1, 2, 3, 4
	OSD Time Out	5s, 10s, 20s, 30s, 60s
USB Setting	USB-C Setting	High Data Speed,High Resolution
	USB Standby Mode	On, Off
	KVM	Auto, USB C, USB up
Setup	Resolution Notification	On, Off
	DP Out Multi-Stream	Clone, Extend
	Smart Power	On, Off
	Reset	Yes, No
	Information	

3 解像度アラート

このディスプレイは、ネイティブ解像度 3840 x 2160 で最高の性能を発揮するように設計されています。ディスプレイが異なる解像度で作動している場合は、画面にアラートが表示されます ：
Use 3840 x 2160 for best results
(3840 x 2160 を使用してください)

解像度アラートの表示は、OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューの Setup (セットアップ) からオフに切り替えることができます。

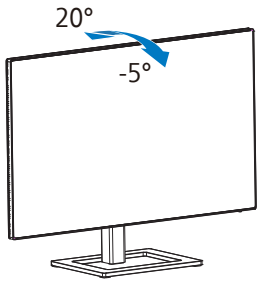
4 ファームウェア

OTA（Over The Air）ファームウェアアップデートは、SmartControl ソフトウェアを介して行われ、Philips の Web サイトから簡単にダウンロードできます。SmartControl は何をしますか?これは、モニターの写真、オーディオ、その他の画面上のグラフィック設定を制御するのに役立つ追加ソフトウェアです。

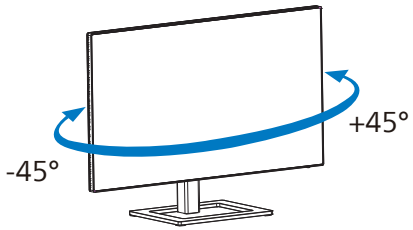
「セットアップ」セクションでは、現在使用しているファームウェアのバージョンと、アップグレードが必要かどうかを確認できます。さらに、ファームウェアのアップグレードは SmartControl ソフトウェアを介して行う必要があることに注意することが重要です。SmartControl over-the-air（OTA） でファームウェアをアップデートする場合は、ネットワークに接続する必要があります。

5 向度調整

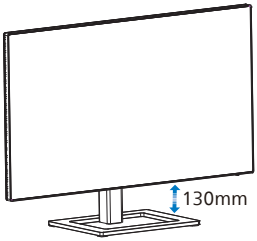
チルト



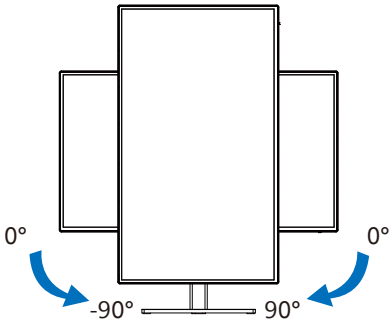
スイベル



高さ調節



ピボット



⚠ 警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを -5 度以上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。 ベゼルのみを持つようにしてください。

2.3 MultiClient Integrated KVM

1 MultiClient Integrated KVMとは？

MultiClient Integrated KVMスイッチを使用すると、1台のモニタでキーボード・マウスを2つ設定してPCを制御できます。便利なボタンにより、ソース間をすばやく切り替えることができます。

2 MultiClient Integrated KVMを有効にする方法

内蔵のMultiClient Integrated KVMを使用することで、OSDメニューの設定により、2つのデバイス間で周辺機器をすばやく切り替えることができます。

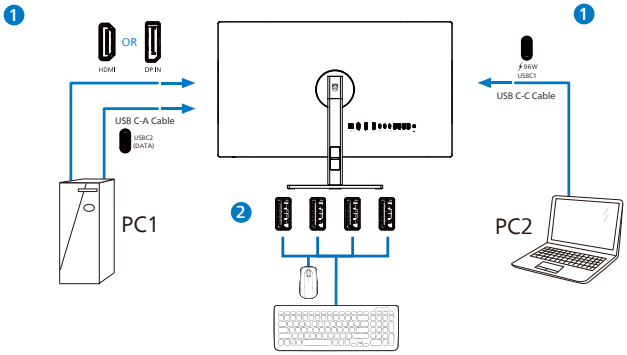
USBCおよびHDMIまたはDPを入力として使用し、USB CをUSBアップストリームとして使用します。

設定については、次の手順に従ってください。

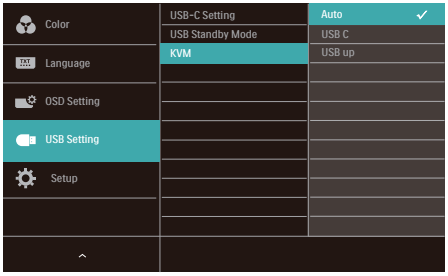
1. デュアルデバイスのUSBアップストリームケーブルをこのモニタの「USBC」ポートと「USB UP」ポートに同時に接続します。

ソース	USB ハブ
HDMI or DP	USB up (USBC2)
USB C (USBC1)	USB C (USBC1)

2. 周辺機器をこのモニタのUSBダウンストリームポートに接続します。



3. OSDメニューを開きます。KVM layer(KVMレイヤー）に進み、「自動」「USB C」または「USB up」を選択して、周辺機器の制御をあるデバイスから別のデバイスに切り替えます。1セットの周辺機器を使用して制御システムを切り替えるために、このステップを繰り返します。



DPおよびHDMIを入力として使用し、USB CをUSBアップストリームとして使用します。

設定については、次の手順に従ってください。

1. デュアルデバイスのUSBアップストリームケーブルをこのモニタの「USB C」ポートと「USB up」ポートに同時に接続します。

デュアルPCセットアップは次のようになります：

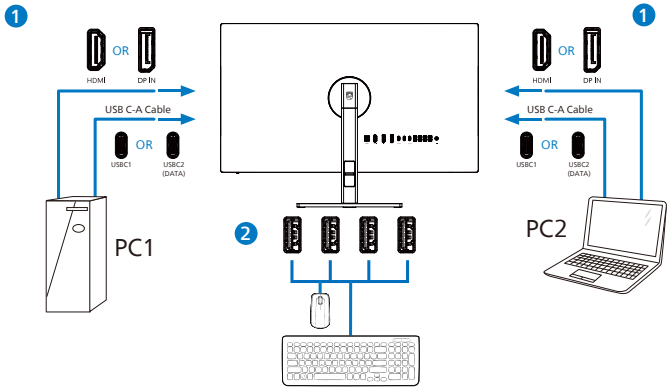
PC1：USB upをアップストリームとして、動画および音声の転送用にHDMIまたはDPケーブルを使用します。

PC2：USB Cをアップストリーム（USB C-A）として、DPまたはHDMIケーブルを動画および音声の転送用に使用します。

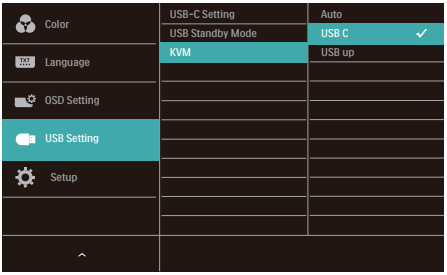
ご参考まで：以下の表を参考にしてください。

ソース	USB ハブ
HDMI or DP	USB up (USBC2)
DP or HDMI	USB C (USBC1)

2. 周辺機器をこのモニタのUSBダウンストリームポートに接続します。



3. OSDメニューを開きます。KVM layer（KVMレイヤー）に進み「USB C」を選択して、周辺機器の制御をあるデバイスから別のデバイスに切り替えます。1セットの周辺機器を使用して制御システムを切り替えるために、このステップを繰り返します。



注

また、PBPモードで「MultiClient Integrated KVM」を採用することもできます。PBPを有効にすると、このモニタに同時に2つの異なるソースが投影されます。「MultiClient Integrated KVM」は、1セットの周辺機器を使用して、2つのシステム間をOSDメニュー設定で制御することにより、操作性を向上させます。上記の手順3に従ってください。

2.4 MultiView

1 これは何ですか？

Multiviewにより、アクティブなデュアル接続が可能になり、デスクトップPCやノートPCのような複数のデバイスを同時に並べて使用できるようになるため、複雑なマルチタスク作業がやりやすくなります。

2 必要な理由は？

超高解像度Philips MultiViewディスプレイでは、職場でも家庭でも快適なコネクターを享受できます。このディスプレイを使用することで、1つの画面で複数のコンテンツソースを簡単にお楽しみになれます。例: 小さなウィンドウでオーディオケーブル(オプション)をオンにしたままライブニュースビデオを見ながら、最新のブログに取り組んだり、ウルトラブックからExcelファイルを編集しながら、安全な会社のイントラネットにログインしてデスクトップからファイルにアクセスしたいと思ったことがあるかもしれません。

3 OSDメニューでMultiViewを有効にするにはどうすればいいのですか？

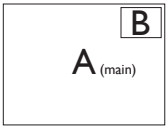
1. OSDメニュー画面に入るには、右に動かします。
2. 上または下に動かして、メインメニュー[PIP / PBP]を選択し、次に右に動かして確定します。
3. 上または下に動かして、[PIP / PBP Mode]（PIP / PBPモード） を選択し、次に右に動かします。
4. 上または下に動かして、 [PIP]、[PBP]を選択し、次に右に動かします。
5. これで逆行し、[PIP/PBP 入力]、[PIPサイズ]、[PIP 位置]、[スワップ]を設定できます。
6. 右に動かして選択を確定します。

4 OSDメニューのMultiView

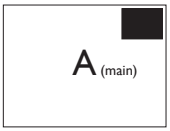
- PIP / PBP Mode (PIP / PBP モード): MultiView には、次の 2 つのモードがあります : [PIP] および [PBP]。

[PIP]: ピクチャインピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを開きます。

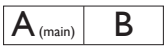


サブソースが検出されない場合:



[PBP]: ピクチャバイピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを並べて開きます。



サブソースが検出されない場合:

注

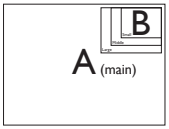
PBP モードでは、黒い帯が画面の上部と下部に正しいアスペクト比を表示します。フルスクリーンを並べて表示する場合は、デバイスの解像度を注目解像度に合わせて調整します。このデバイスには、2 つのデバイスソーススクリーンプロジェクトが黒い帯なしで並べて表示されます。アナログ信号は、PBP モードにおいて、この全画面表示をサポートしていないことに注意してください。

- PIP / PBP Input (PIP / PBP 入力): サブディスプレイソースとして、次の 3 つの異なるビデオ入力を選択できます。 [HDMI 2.0]、 [DisplayPort]]、[USBC]。

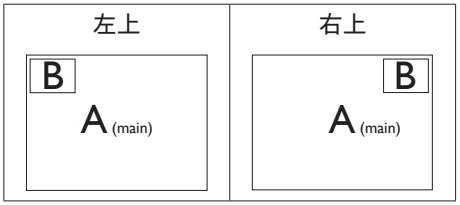
メイン/サブ入力ソースの互換性については、以下の表を参照してください。

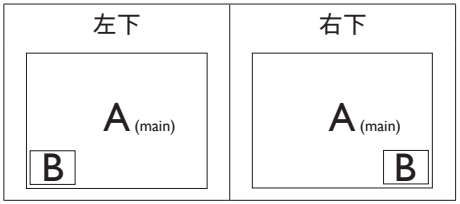
MultiView	入力	サブソースの可能性(xl)		
		HDMI	DisplayPort	USBC
メインソース (xl)	HDMI	●	●	●
	DisplayPort	●	●	●
	USBC	●	●	●

- PIP Size(PIP サイズ): PIP がアクティブになっているとき、次の 3 つのサブウィンドウサイズを選択できます。 [Small(小)]、 [Middle(中)]、[Large(大)]。



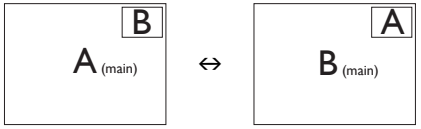
- PIP Position(PIP 位置): PIP がアクティブになっているとき、次の 4 つのサブウィンドウ位置を選択できます。





- Swap(スワップ): ディスプレイでスワップされたメインピクチャソースとサブピクチャソース。

[PIP]モードのAとBソースのスワップ:



[PBP]モードのAとBソースのスワップ:

- Off(オフ): MultiView 機能を停止します。

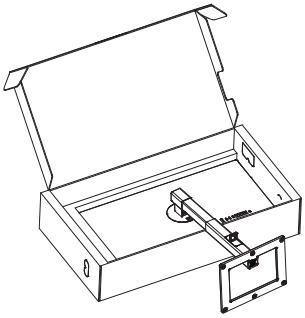
注

スワップ機能を実行すると、ビデオとそのオーディオソースが同時にスワップされます。

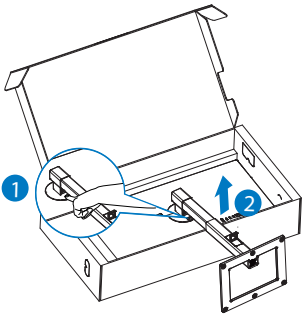
2.5 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし

破損や負傷を防ぐため、モニタベースの取り外しを始める前に下記の指示に従ってください。

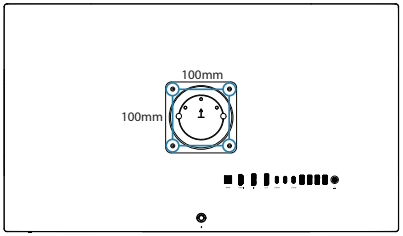
1. ディスプレイを画面を下にして平らな場所に置きます。このとき、画面にひっかき傷が付いたり損傷しないように、柔らかい布などを敷いてください。



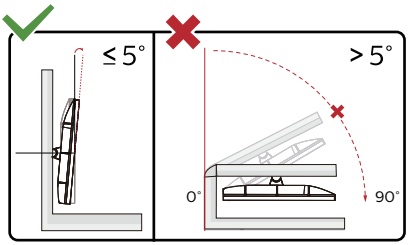
2. リリースボタンを押したまま、ベースを傾けて、スライドしてはずします。



注
の取り付けインターフェースを受け入れます。VESA取り付け用ネジM4。壁取り付け設置については、必ず製造元に問い合わせてください。



注
適切な壁マウントを購入してください：そうしないと、背面プラグインケーブルと壁の間の距離が、短くなりすぎることがあります。



* ディスプレイのデザインは、このマニュアルに示されているものと異なる場合があります。

警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを -5 度以上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。 ベゼルのみを持つようにしてください。

3. 画像の最適化

3.1 SmartImage

1 これは何ですか？

SmartImageはさまざまな種類のコンテンツ用のディスプレイを最適化するようにプリセットされて、輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整します。テキストアプリケーションで作業しているか、画像を表示しているか、ビデオを見ているかに関わらず、Philips SmartImageは最適化された最高のモニタパフォーマンスを発揮します。

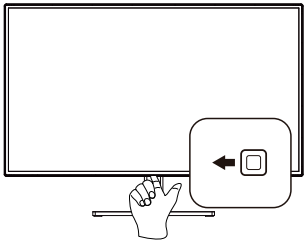
2 必要な理由は？

どのような種類のコンテンツも、極めて明瞭かつ快適な状態で鑑賞できることが求められます。SmartContrast はコントラストをダイナミックに制御してバックライトを調整し、クリアでくっきりした見やすいゲームとビデオ画像を実現します。また、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。

3 これは、どのように作動するのですか？

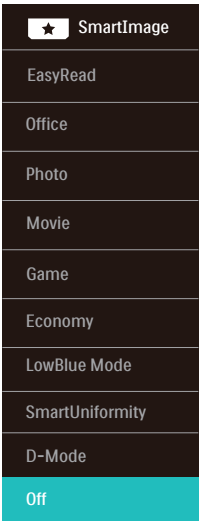
SmartImageは画面に表示されたコンテンツを分析するPhilips独自の最先端技術です。選択したシナリオに基づき、SmartImageは画像のコントラスト、彩度、シャープネスをダイナミックに強化して表示されるコンテンツを強化します。すべては１つのボタンを押すだけでリアルタイムで行われます。

4 SmartImageはどのようにして有効にするのですか？



1. 画面ディスプレイでSmartImageを起動するには左に切り替えます。
2. EasyRead、Office（オフィス）、Photo（写真）、Movie（動画）、Game（ゲーム）、Economy（エコノミー）、LowBlue Mode（LowBlueモード）、SmartUniformity（スマートユニフォーミティ）、D-Mode（Dモード）、Off（オフ）。のいずれかを選択するには上下に切り替えます。
3. 画面ディスプレイのSmartImageは５秒間画面に表示されています。または「OK」を押して確認することもできます。

次の９つのタイプから選択します：EasyRead、Office（オフィス）、Photo（写真）、Movie（動画）、Game（ゲーム）、Economy（エコノミー）、LowBlue Mode（LowBlueモード）、SmartUniformity（スマートユニフォーミティ）、D-Mode（Dモード）、Off（オフ）。



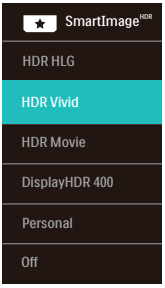
- EasyRead: PDF電子書籍のようなテキストベースのアプリケーションの読み取りの向上に役立ちます。テキストコンテンツのコントラストと境界のシャープネスを上げる特殊なアルゴリズムを使用することで、モニタの輝度、コントラスト、色温度が調整され、ディスプレイはストレスなしに読み取ることができるように最適化されます。
- Office（オフィス）: テキストを強化して輝度を抑えることで読みやすさを向上し、目の疲れを和らげます。スプレッドシート、PDFファイル、スキャンされた記事、その他の一般的オフィスアプリケーションで作業しているとき、このモードは読みやすさと生産性を大幅に向上します。
- Photo（写真）: このプロファイルは彩度、ダイナミックコントラスト、シャープネス強化

を組み合わせて、写真やその他の画像を躍動感にあふれる色でくっきりと表示します。アーティファクトが生じたり色がぼやけることはありません。

- Movie（動画）: 輝度を上げ、彩度、ダイナミックコントラスト、レーザーシャープネスを深め、ビデオの暗い領域を細部まで表示します。明るい領域の色落ちはなく、ダイナミックな自然値を維持して究極のビデオ表示を実現します。
- Game（ゲーム）: 駆動回路上でオンにすると画面で動く物体の応答時間が速くなり、ぎざぎざの縁が減少して、明るいスキームや暗いスキームのコントラスト比が向上します。このプロファイルはゲーマーに最高のゲーム体験を提供します。
- Economy（エコノミー）: このプロファイルの下で、輝度、コントラストが調整され、毎日のオフィスアプリケーションを適切に展示するためにバックライトを微調整して、消費電力を下げます。
- LowBlue Mode（LowBlueモード）: 目に易しい生産性に対するLowBlueモード研究は、紫外線には目の損傷を引き起こす可能性があること、LEDディスプレイから放射される短波長の青色光線には、目の損傷の原因となり、時間をかけて視力に影響を与える可能性があることを示しています。 幸福のために開発されたPhilips LowBlueモード設定は、有害な短波青色光を低減するためにスマートなソフトウェア技術を使用しています。
- SmartUniformity（スマートユニフォーミティ）: 画面の異なる部分で、輝度および色が変動するのは、LCD ディスプレイでは一般的な現象です。一般的な均一性は約 75 ～ 80% と測定されます。Philips SmartUniformity 機能を有効にすると、ディスプレイの均一性は 95% 以上に向上します。これによって、生成された画像の一貫性と忠実性が向上します。
- D-Mode（Dモード）: グレースケールレベルのパフォーマンスを強化するDICOMモード用です。
- Off（オフ）: SmartImageで最適化はされません。

このディスプレイが接続されたデバイスからHDR信号を受信したら、ニーズに最も相応しい画像モードを選択します。

次の複数の選択肢があります：HDR HLG、HDR Vivid、HDR Movie (HDR 動 画)、DisplayHDR 400、Personal (個人)、Off (オフ)。



- HDR HLG：ラジオやテレビの特定のHDRフォーマットに使用されます。
- HDR Vivid：赤、緑、青を強化して、実物そっくりのビジュアルを実現します。
- HDR Movie：HDRムービーの視聴に理想的な設定です。より現実的で没頭できる視聴体験を実現するために、より良いコントラストと輝度を提供します。
- DisplayHDR 400：VESA DisplayHDR 400規格を満たします。
- Personal（個人）： 画像メニューで利用可能な設定をカスタマイズします。
- Off (オフ): SmartImage HDRによる最適化はありません。

注

HDR機能をオフにするには、入力デバイスおよび当該コンテンツを無効にしてください。

入力デバイスとモニターの間でHDR設定に一貫性がない場合、画像クオリティが低下する可能性があります。

3.2 SmartContrast

1 これは何ですか？

表示されたコンテンツをダイナミックに分析したり、モニタのコントラスト比を自動的に最適化して映像の明瞭さを最大限に高めたり、バックライトを強化することでクリアで、くっきりした、明るい画像を実現したり、バックライトを薄暗くすることで暗い背景で画像をクリアに表示したりする独特な技術です。

2 必要な理由は？

あなたはどのような種類のコンテンツに対しても、きわめて明瞭な映像が表示され快適な状態で鑑賞できることを求めています。 SmartContrastはコントラストをダイナミックに制御しバックライトを調整してクリアで、くっきりした、明るいゲームとビデオ画像を実現したり、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。 モニタの消費電力を抑えることで、エネルギーコストを節約し、モニタの寿命を延ばすとができます。

3 これは、どのように作動するのですか？

SmartContrastをアクティブにするとき、表示しているコンテンツをリアルタイムで分析して色を調整しバックライト強度を制御します。 この機能はビデオを表示したりゲームをプレーしているとき、コントラストをダイナミックに強化して素晴らしいエンタテインメント体験を体験できるようにします。

3.3 色空間と色の値をカスタマイズする

表示しているコンテンツを適切に表示するために、各色の値を手動で調整するか、適切な色空間モードを選択できます。

次の複数の選択肢があります：

- Display-P3：画面デバイス、特にApple製品に適しています。
- DCI-P3：デジタルシネマプロジェクター、一部の映画とゲーム用です。また、写真用にも使用します。
- DCI-P3（D50）：グラフィックデザインおよびプリント用です。D50ホワイトポイント用です。
- sRGB：ほとんどのパーソナルコンピューターアプリケーション、ゲーム、インターネット、Webデザイン用です。
- Adobe RGB：グラフィックアプリケーション用です。D65ホワイトポイント用です。
- Adobe RGB（D50）：グラフィックアプリケーション用です。D50ホワイトポイント用です。
- Rec.2020: UHDビデオ用です。
- Rec.709: HDビデオ用です。

注

HDRおよび色空間モードを同時に有効にすることはできません。いずれかの色空間モードを選択する前に、HDRを無効にしてください。

3.4 Adaptive Sync

Adaptive Sync

PCゲームは長い間不完全な状態でした。GPUとモニターの更新レートが異なるためです。GPUがモニターの１回の更新中に新しいピクチャをたくさんレンダリングできるとき、モニターは各ピクチャの断片を１つのイメージとして表示することがあります。これが「テアリング」です。ゲーマーは「v-sync」と呼ばれている機能でテアリングを修正できますが、イメージがちぐはぐになることがあります。GPUは、新しいピクチャを届ける前に、モニターが更新を要求するのを待つからです。

v-syncを利用すると、マウス入力の反応や毎秒の全体フレーム数も下がります。AMD Adaptive Syncテクノロジはこういった問題をすべて解決します。GPUは新しいピクチャが用意できた瞬間にモニターを更新します。信じられないくらい滑らかで、反応性の良い、テアリングのないゲームを楽しめます。

互換性のあるグラフィックスカードでフォロー。

■ オペレーティングシステム
- Windows 11/10/8.1/8

■ グラフィックカード:R9 290/300-serie & R7 260シリーズ
- AMD Radeon R9 300 シリーズ
- AMD Radeon R9 Fury X
- AMD Radeon R9 360
- AMD Radeon R7 360
- AMD Radeon R9 295X2
- AMD Radeon R9 290X
- AMD Radeon R9 290
- AMD Radeon R9 285
- AMD Radeon R7 260X
- AMD Radeon R7 260

■ プロセッサーAシリーズデスクトップとモビリティAPU
- AMD A10-7890K
- AMD A10-7870K
- AMD A10-7850K
- AMD A10-7800
- AMD A10-7700K
- AMD A8-7670K
- AMD A8-7650K
- AMD A8-7600
- AMD A6-7400K
- AMD RX 6500 XT
- AMD RX 6600 XT
- AMD RX 6700 XT
- AMD RX 6750 XT
- AMD RX 6800
- AMD RX 6800 XT
- AMD RX 6900 XT

3.5 デイジーチェーン機能

DisplayPortマルチストリーム機能を利用することで、複数台のモニターを接続することができます。

本Philipsディスプレイには、DisplayPortインターフェースとDisplayPort over USBC が搭載されており、複数台のディスプレイへにデイジーチェーン接続することができます。

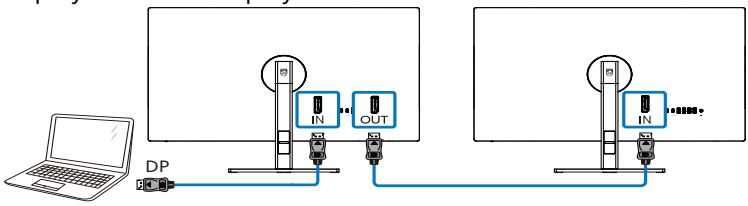
デイジーチェーン接続して、1本のケーブルを通してディスプレイから次のディスプレイへと複数のモニターを使用できるようになりました。

モニターをデイジーチェーン接続する際には、まず以下を確認してください：

PCのGPUがDisplayPort MST（マルチストリームトランスポート）に対応しているか確認してください。

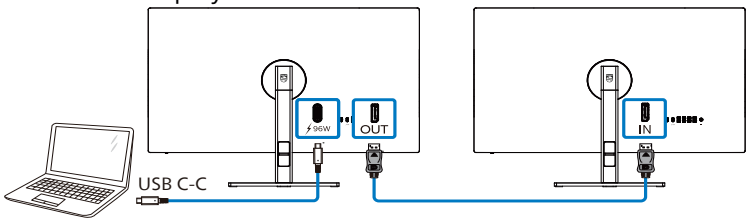
注
- 接続可能なモニターの最大数は、GPUの性能により異なります。
- ご使用のグラフィックカードベンダーをチェックして、グラフィックカードドライバを常に更新するようにしてください。

DisplayPort経由のDisplayPortマルチストリーミング



ディスプレイ解像度	対応できる外部モニターの最大数
	拡張モード （DisplayPort）
3840 x 2160 @ 60Hz	1

USBC経由のDisplayPortマルチストリーミング



ディスプレイ解像度入力	リンク速度*1	USB設定	対応できる外部モニターの最大数	ディスプレイ解像度出力
3840 x 2160 @ 30Hz	HBR2	USB2.0	1	3840 x 2160 @ 30Hz
	HBR3	USB2.0	1	3840 x 2160 @ 60Hz
3840 x 2160 @ 60Hz	HBR3	USB2.0	1	3840 x 2160 @ 30Hz

注

[1] リンク速度を確認するには ： ボタン を押して、[設定] > [情報] を選択してください。画面にはHBR3が表示されます。それ以外の場合、リンク速度はHBR2です。

DP出力マルチストリームモードの中から1つ選択します：ボタンを押して、セットアップ > DP出力マルチストリーム > 拡張を選択します。

注

チェーン内のセカンダリモニターが、DisplayPortマルチストリーミングをサポートし、3840 x 2160@60Hzの最大解像度をサポートする必要があります。

3.6 HDR

Windows 11/10 における HDR 設定

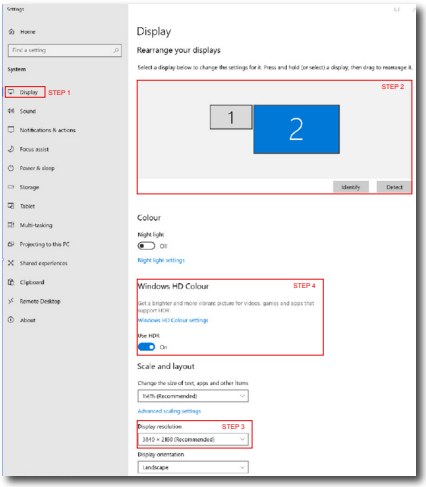
手順

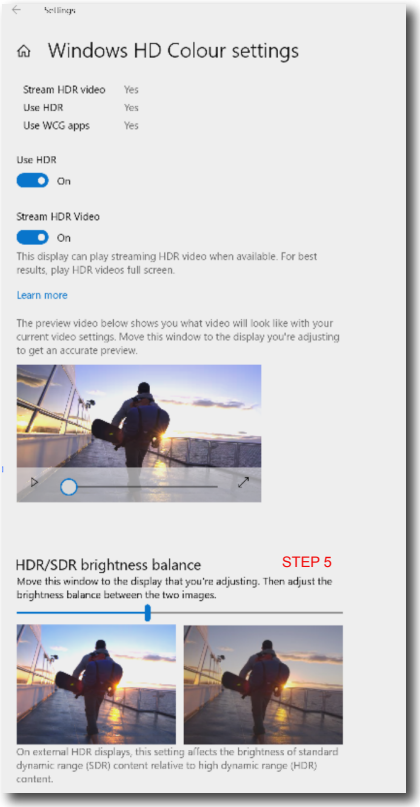
1. デスクトップを右クリックして、ディスプレイ設定に入ります
2. ディスプレイ/モニターを選択します
3. [ディスプレイの再配置]でHDR対応のディスプレイを選択します。
4. Windows HDの色設定を選択します。
5. SDR コンテンツの輝度を調整します

注：

Windows 11/10 エディションが必要です。常に最新の更新バージョンにアップグレードしてください。

以下は、Microsoft 公式 Web サイトからの詳細情報に関するリンクです。https://support.microsoft.com/en-au/help/4040263/windows-10-hdr-advanced-color-settings





注

HDR 機能をオフに切り替える場合は、入力デバイスとそのコンテンツを無効にしてください。入力デバイスとモニターの間の HDR 設定が異なると、十分な画像が得られない場合があります。

4. 電源供給およびスマート電源

このモニターから、互換性のあるデバイスに最大96Wの電力を供給することができます。

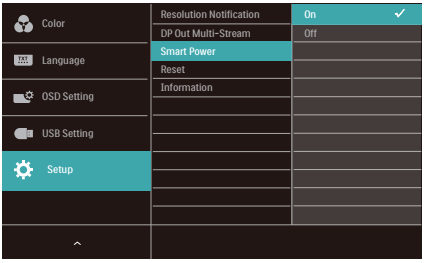
1 スマート電源とは?

スマート電源とは、さまざまなデバイスに対して、柔軟な電源供給オプションを提供するPhilips独自の技術です。1本のケーブルのみで、高性能ノートパソコンを再充電できるため有用です。

モニターは、スマート電源を使用して、USBCポートを通して、最大96Wの電力を供給することができます（標準は65Wです）。

デバイスの損傷を防止するため、スマート電源は、電流の引き込みを制限する保護を有効にします。

2 スマート電源を有効にする方法は？



1. OSDメニュー画面に入るには、右に動かします。
2. 上または下に動かして、メインメニュー[Setup（セットアップ）]を選択してから、右に動かして確定します。
3. 上または下に動かして、[Smart Power（スマート電源）]をオンまたはオフにします。

3 USBCポートを経由する電源供給

1. デバイスをUSBCポートに接続します。
2. [スマート電源]を有効にします。
3. [スマート電源]が有効であり、USBCが電源供給用に使用されている場合、最大電源供給はモニターの輝度値により異なります。このモニターからの電源供給を増やす場合は、モニターの輝度値を手動で調整することができます。

3つの電源供給レベルがあります。

	輝度値	USBCからの電源供給
レベル1	0~20	96W
レベル2	21~60	85W
レベル3	61~100	80W

注

- [スマート電源]が有効であるとき、DFP（Downstream Facing Port）が5W以上の電力を使用している場合、USBCは最大65Wの電力を供給することができます。
- [スマート電源]が無効である場合、USBCは最大65Wの電力を供給することができます。

5. コンピューター視覚症候群 (CVS) を防止するための設計

Philips 製モニターは、長時間のコンピューター使用により引き起こされる目の疲れを防止するように設計されています。

以下の指示を遵守し、疲労を軽減し、仕事の生産性を最大化するように、Philips 製モニターを使用してください。

1. 適切な環境照明:
    - 画面の輝度と同じになるように、環境照明を調整してください。蛍光灯による照明、光を反射しすぎる表面を避けてください。
    - 輝度とコントラストを適切なレベルに調整してください。
2. 良好な作業習慣:
    - モニターを長時間使用すると、目の不快感を引き起こす可能性があります。作業机では、長い休憩よりも、短い休憩を頻繁にとるようにしてください。例えば、2 時間ごとに 15 分休憩をとるよりは、50 ～ 60 分ごとに 5 ～ 10 分の休憩をとるようにしてください。
    - 画面上に長時間焦点を合わせた後は、様々距離にある物を見るようにしてください。
    - そっと目を閉じて、目を回転させて、リラックスしてください。
    - 作業中は、意識して頻繁にまばたきをしてください。
    - そっと首を伸ばして、頭をゆっくり前後左右に傾けて、痛みを軽減してください。
3. 理想的な作業姿勢
    - 目の高さに合わせて、画面の高さを角度を再調整してください。
4. 目に優しい Philips モニターを選んでください。
    - 映り込み防止画面: 映り込み防止画面は、目の疲労を引き起こす迷惑で気を散らす反射を効果的に低減します。
    - ちらつき防止技術により、輝度を調整し、ちらつきを減らし、より快適に視聴することができます。
    - LowBlue (ブルーライト低減) モード: ブルーライトは目の疲れを引き起こす可能性があります。Philips LowBlue により、様々な作業環境向けに異なるブルーライトフィルターレベルを設定できます。
    - 紙文書のように読むことができる EasyRead (簡単読み取り) モードは、画面上で長い文書を快適に見ることができます。

6. 技術仕様

画像 / ディスプレイ	
ディスプレイパネルの種類	IPS 技術
バックライト	W-LED
パネルサイズ	27" 幅 (68.5 cm)
縦横比	16:9
画素ピッチ	0.1554 (H) mm x 0.1554 (V) mm
コントラスト比 (標準)	2000:1
ネイティブ解像度	3840 x 2160 @ 60 Hz
最大解像度	3840 x 2160 @ 60 Hz
表示角度	178° (H) / 178° (V) @ C/R > 10 (標準)
画像強調	SmartImage
表示色	1.07B (8 ビット + A-FRC)
垂直リフレッシュレート	23 - 75 Hz
水平周波数	30 - 140 KHz
sRGB	あり
輝度の均一	あり
色差 (標準)	あり
LowBlue モード	あり
EasyRead	あり
HDR	VESA DisplayHDR™ 400 認定済み
フリッカーフリー	あり
Adaptive Sync	あり
Over-the-air ファームウェアアップデート	あり
入出力	
信号入力ソース	HDMI, DisplayPort, USBC1 (DP Altモード)
コネクター	1 x HDMI 2.0 (HDCP 1.4, HDCP 2.2) 1 x DisplayPort 1.4 (HDCP 1.4, HDCP 2.2) 1 x USBC1 (アップストリーム, HDCP 1.4, HDCP 2.2) 1 x USBC2 (アップストリーム) 1 x USBC3 (ダウンストリーム) 4 x USB-A (ダウンストリーム) 1 x DisplayPort出力 1 x オーディオ 出力
入力信号	セパレート同期
USB	
USB ポート	USBC1 x1 (アップストリーム、標準 PD 96W、DP Alt モード)[1] USBC2 x1 (アップストリーム、DATA)[2] USBC3 x1 (ダウンストリーム, 最大15W)[3] USB-A x 4 (1つは高速充電BC 1.2対応ダウンストリームに対応)

電力供給	USBC1: USB PDバージョン3.0, 標準 96W (5V/3A, 7V/3A, 9V/3A, 10V/3A, 12V/3A, 15V/3A, 20V/4.8A) USBC3: 最大15Wの電源 (5V/3A) USB-A: 1 x 高速充電BC 1.2、最大7.5W (5V/1.5A)
USB SuperSpeed	USB C/USB-A: USB 3.2 Gen2, 10 Gbps
ユーザーインターフェース	
マルチ画面	PIP/PBP モード、2 ×デバイス
OSD 言語	英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語
その他のユーザーインターフェース	VESA マウント (100 × 100mm)、Kensington ロック
プラグアンドプレイ互換性	DDC/CI、Mac OS X、sRGB、Windows 11/10/8.1/8
スタンド	
チルト	-5 / +20度
スイベル	-45 / +45度
高さ調節	130 mm
ピボット	-90 / +90度

電源			
消費エネルギー	AC 入力電圧 100VAC、60Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常取り扱い	26.7 W (標準)	26.6 W (標準)	26.2 W (標準)
スリープ (ネットワークスタンバイモード)	0.5 W	0.5 W	0.5 W
オフモード	0.3 W	0.3 W	0.3 W
熱放散 *	AC 入力電圧 100VAC、60Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常取り扱い	91.1 BTU/時 (標準)	90.8 BTU/時 (標準)	89.4 BTU/時 (標準)
スリープ (ネットワークスタンバイモード)	1.71 BTU/時	1.71 BTU/時	1.71 BTU/時
オフモード	1.02 BTU/時	1.02 BTU/時	1.02 BTU/時
電源 LED インジケータ オン	オン : 白、スタンバイ / スリープモード : 白 (点滅)		
電源	AC アダプタ、100-240VAC、50-60Hz		

寸法	
製品 (スタンド付き) (幅 x 高さ x 奥行き)	614 x 568 x 200 mm
製品 (スタンドなし) (幅 x 高さ x 奥行き)	614 x 355 x 38 mm
製品 (梱包付き) (幅 x 高さ x 奥行き)	780 x 420 x 161 mm

重量	
製品 (スタンド付き)	5.38 kg
製品 (スタンドなし)	4.05 kg
製品 (梱包付き)	8.73 kg
環境条件	
温度 (取り扱い時)	0ºC ～ 40ºC
湿度 (取り扱い時)	20%～80%
大気圧 (取り扱い時)	700～1060hPa
温度 (非取り扱い時)	-20ºC ～ 60ºC
湿度 (非取り扱い時)	10% ～ 90%
大気圧(非取り扱い時)	500～1060hPa
環境およびエネルギー	
ROHS	対応
梱包	100% リサイクル可能
特定物質	100% PVC BFR を含まない筐体
キャビネット	
色	ブラック
仕上げ	テクスチャ

[1] USB-C ポート USBC は、デバイスに応じて 96W (通常) から 99W (最大) までのデータ、ビデオ転送、電力供給を行います。

[2] USB-CポートUSBC2は、アップストリームデータ転送のみを行います。

[3] USB-C ポート USBC は、ダウンストリームデータ転送と 15W の電力供給を行います。

注

1. このセクションに記載されているデータは予告なく変更される場合があります。 パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。
2. 電力供給機能はラップトップの能力に基づきます。
3. SmartUniformity および Delta E の情報シートは、ボックスに含まれます。
4. モニターのファームウェアを最新バージョンにアップデートするには、SmartControl ソフトウェアを Philips の Web サイトからダウンロードしてください。SmartControl over-the-air（OTA）でファームウェアをアップデートする場合は、ネットワークに接続する必要があります。

6.1 解像度とプリセットモード

水平周波数 (kHz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
31.47	720 x 400	70.09
31.47	640 x 480	59.94
35.00	640 x 480	66.67
37.86	640 x 480	72.81
37.50	640 x 480	75.00
37.88	800 x 600	60.32
46.88	800 x 600	75.00
48.36	1024 x 768	60.00
60.02	1024 x 768	75.03
44.77	1280 x 720	59.86
63.89	1280 x 1024	60.02
79.98	1280 x 1024	75.03
55.94	1440 x 900	59.89
70.64	1440 x 900	74.98
65.29	1680 x 1050	59.95
67.50	1920 x 1080	60.00
133.29	1920 x 2160 PBP Mode	59.99
88.79	2560 x 1440	59.95
65.688	3840 x 2160	29.98
133.312	3840 x 2160	60.00

注

1. ディスプレイは 3840 x 2160 @ 60 Hz の解像度で最高の画像を表示します。最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。推奨解像度 HDMI 2.0/DP/USB C: 3840 x 2160 @ 60 Hz ディスプレイを USB C または DP ポートに接続しているとき、ネイティブ解像度で表示されない場合は、解像度を PC から 3840 x 2160 @ 60 Hz の最適状態に調整してください。
2. 工場出荷時のデフォルト設定では、HDMI は 3840 x 2160 @ 60 Hz の解像度をサポートしています。
3. このモニターの USB C 入力の USB ハブのデフォルト設定は、「High Data Speed」です。サポートする最大解像度は、グラフィックスカードの能力に依存します。

7. 電源管理

PCにVESA DPM準拠のディスプレイカードを取り付けているか、またはソフトウェアをインストールしている場合、モニタは使用していないときにその消費電力を自動的に抑えることができます。 キーボード、マウスまたはその他の入力デバイスからの入力が検出されると、モニタは自動的に 「呼び起こされます」。 次の表には、この自動省電力機能の電力消費と信号が示されています。

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平同期	垂直同期	使用電力	LED色
アクティブ	オン	あり	あり	26.6 W (標準) 188.7 W (最大)	白
スリープ (ネットワークスタンバイモード)	オフ	なし	なし	0.5 W (標準)	白 (点滅)
オフモード	オフ	-	-	0.3 W (標準)	オフ

次のセットアップは、このモニタの消費電力を測定するために使用されます。

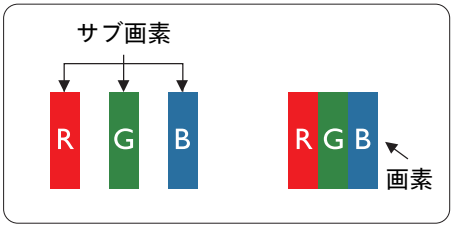
- ネーティブ解像度: 3840 x 2160
- コントラスト: 50%
- 輝度: 70%
- Color temperature (色温度): 6500k (完全な白パターンの場合)

注
このデータは事前の通知なしに変更することがあります。

8. カスタマサポートと保証

8.1 Philips のフラットパネルディスプレイ画素欠陥ポリシー

Philips は最高品質の製品を提供するよう努めています。当社は、業界で最も進んだ製造プロセスと可能な限り厳しい品質管理を採用しています。しかしながら、フラットパネルディスプレイで使用される TFT ディスプレイパネルの画素またはサブ画素にやむを得ず欠陥が生じる場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、欠陥があるディスプレイを修理または交換することを保証します。この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、それぞれの種類の欠陥について許容レベルを定義するものです。保証期間中の修理または交換の資格を得るには、TFT ディスプレイパネルの画素欠陥数がこれらの許容レベルを超えている必要があります。例えば、ディスプレイのサブ画素の 0.0004% を超えると欠陥となります。さらに、Philips は特定の種類または組み合わせの画素欠陥については、他社と比較して著しく高い品質基準を設けています。このポリシーは世界各国で適用されます。



画素とサブ画素

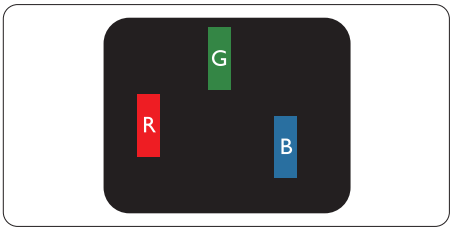
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の3つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3つの色の付いたサブ画素が1つの白い画素として一緒に表示されます。 すべての画素が暗くなると、3つの色の付いたサブ画素は1つの黒い画素として集まって表示されます。 点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の1つの画素として表示されます。

画素欠陥の種類

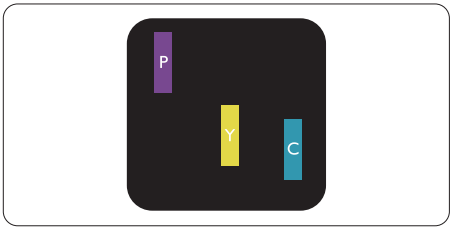
画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。 画素欠陥には2つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、明るいドットはディスプレイが暗いパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。次に、明るいドット欠陥の種類を紹介します。

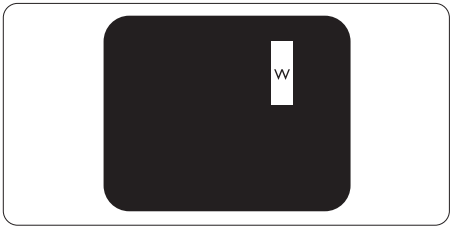


1つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。



2つの隣接する点灯サブ画素:

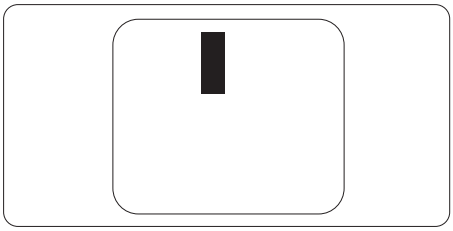
- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄
- 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)



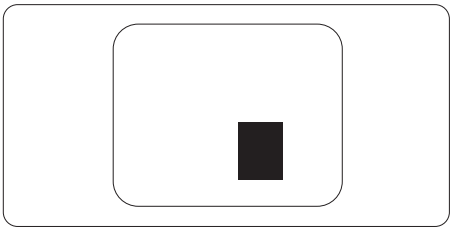
3つの隣接する点灯サブ画素(1つの白い画素)。

注
緑の明るいドットが近接したドットより30パーセント以上明るい場合、赤または青の明るいドットは近接するドットより50パーセント以上明るくなっている必要があります。

黒いドット欠陥
黒いドット欠陥は、常に暗いか 「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、暗いドットはディスプレイが明るいパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。次に、黒いドット欠陥の種類を紹介します。



画素欠陥の近接
互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philipsでは画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。



画素欠陥の許容範囲
保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips フラットパネルディスプレイの TFT ディスプレイパネルの画素またはサブ画素欠陥数が、次の表の許容レベルを超えている必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
2つの隣接する点灯サブ画素	1
3つの隣接する点灯サブ画素(1つの白い画素)	0
2つの明るいドット欠陥の間の距離*	>15mm
すべての種類の明るいドット欠陥の総数	2

黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	3つ以下
2つの隣接する暗いサブ画素	2つ以下
3つの隣接する暗いサブ画素	0
2つの黒いドット欠陥の間の距離*	>15mm
すべての種類の黒いドット欠陥の総数	3つ以下

ドット欠陥の総数	受け入れられるレベル
すべての種類の明るいまたは黒いドット欠陥の総数	5つ以下

注
1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥

8.2 カスタマサポートと保証

お客様の地域で有効な保証範囲の情報と追加サポート要件の詳細については、www.philips.com/support Webサイトにアクセスしてください。以下に一覧した最寄りのPhilipsカスタマケアセンターの番号にお問い合わせになることもできます。

注

1. フィリップスのウェブサイトのサポートページに掲載されている地域サービスホットラインの重要な情報マニュアルを参照してください。
2. スペア部品は、最初の購入日から最低3年間、または製造終了後1年間のどちらか長い方で、製品の修理に使用できます。

9. トラブルシューティング & FAQ

9.1トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

1 よくある問題

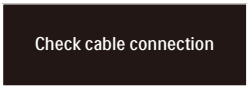
写真が表示されない(電源LEDが点灯しない)

- 電源コードがコンセントとモニタ背面に差し込まれていることを確認してください。
- まず、モニターの下部にある電源ボタンがオフの位置にあることを確認してから、オンの位置まで押します。

写真が表示されない(電源LEDが白くなっている)

- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。
- モニタケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。 曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります

画面に次のようなメッセージが表示される



- ディスプレイケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。(クイックスタートガイドも参照してください)。
- ディスプレイケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。

煙やスパークの明らかな兆候がある

- いかなるトラブルシューティング手順も行わないでください。
- 安全のため、直ちに主電源からモニタの接続を切ってください
- 直ちに、Philipsカスタマサポートに連絡してください。

2 画像の問題

画像がぼやけたり、不明瞭に、または暗く見える

- オンスクリーンディスプレイでコントラストと輝度を調整してください。

電源がオフになった後でも、「後イメージ」、「焼き付き」または「ゴースト像」が残る。

- 長時間静止画像を連続して表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。
- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
- LCD ディスプレイが変化のない静止コンテンツを表示している場合は、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。
- スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。 上で触れた損傷は保証には含まれません。

画像が歪んで表示される。テキストが不鮮明である、またはぼやけて見える。

- PCのディスプレイ解像度をモニタの推奨される画面のネーティブ解像度と同じモードに設定してください。

緑、赤、青、暗い、白いドットが画面に表示される

- ドットが消えずに残るのは今日の技術で使用される液晶の通常の特性です。詳細については、Philips 販売店にお尋ねください。

***「電源オン」ライトが強すぎて、邪魔になる**

- OSDのメインコントロールの電源LEDセットアップを使用して、「電源オン」ライトを調整できます。

更なる支援については、重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照して、Philipsカスタマーサービス担当者に連絡してください。

* 機能はディスプレイにより異なります。

9.2 一般FAQ

Q1: モニタを取り付けるとき、画面に「Cannot display this video mode (このビデオモードを表示できません)」というメッセージが表示された場合、どうすればいいのですか？

A: このモニタの推奨される解像度：3840 x 2160@60Hz.

- すべてのケーブルを抜き、PCを以前使用していたモニタに接続します。
- Windowsのスタートメニューで、設定 / コントロールパネルを選択します。コントロールパネルウィンドウで、画面アイコンを選択します。画面のコントロールパネル内部で、「設定」タブを選択します。設定タブの下の、「デスクトップ領域」とラベルされたボックスで、スライダを3840 x 2160画素に動かします。
- 「詳細プロパティ」を開き、リフレッシュレートを60Hzに設定し、OKをクリックします。
- コンピュータを再起動し、2と3の手順を繰り返してPCが3840 x 2160@60Hzに設定されていることを確認します。
- コンピュータを停止し、古いモニタを取り外し、Philips LCDモニタを再接続します。
- モニタの電源をオンにしてから、PCの電源をオンにします。

Q2: LCDモニタの推奨されるリフレッシュレートは何ですか？

A: LCD モニタの推奨されるリフレッシュレートは 60Hz です。画面が乱れた場合、75Hz まで設定して乱れが消えることを確認できます。

Q3: .Inf ファイルおよび .icm ファイルとは何ですか？ドライバー (.inf および .icm) インストールする方法は？

A: これらは、ご利用のモニター用のドライバーファイルです。ご利用のコンピューターは、モニターを初めて設置するとき、モニタードライバー (.inf および .icm ファイル) のインストールを求める場合があります。ユーザーマニュアルの手順に従い、モニタードライバー (.inf および .icm ファイル) を自動的にインストールしてください。

Q4: 解像度はどのように調整すればいいのですか？

A: ビデオカード / グラフィックドライバとモニタは使用可能な解像度を一緒に決定します。Windows® コントロールパネルの下の「画面のプロパティ」で希望の解像度を選択できます。

Q5: OSDを通してモニタを調整しているときに忘れた場合、どうなりますか？

A: ➡ ボタンを押してから、「Reset (リセット)」を押すと、工場出荷時の設定になります。

Q6: LCD画面はきっかき傷への耐性がありますか？

A: 一般に、パネル面に過度の衝撃を与えず、鋭いまたは先の尖た物体から保護するようにお勧めします。モニタを取り扱っているとき、パネルの表面に圧力や力がかかっていないことを確認してください。保証条件に影響が及ぶ可能性があります。

Q7: LCD表面はどのようにして洗浄すればいいのですか？

A: 通常洗浄の場合、きれいで、柔らかい布を使用してください。洗浄する場合、イソプロピルアルコールを使用してください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの溶剤を使用しないでください。

Q8: モニタの色設定を変更できますか？

A: はい、次の手順のように、OSD コントロールを通して色設定を変更できます。

- 「➡ 」を押してOSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューを表示します
- 「下矢印」を押してオプション「Color (色)」を選択し、「➡ 」を押して色設定に入ります。以下のように、3つの設定があります。
  1. Color Temperature (色温度) : 6500K範囲で設定されている場合、パネルには 「温かい、赤-白色調で」 と、また9300K温度範囲では、 「冷たい青-白色調」 というメッセージが表示されます。

2. sRGB：これは、標準設定で、異なるデバイス(例えば、デジタルカメラ、モニタ、プリンタ、スキャナなど)間で色が正しく変換されていることを確認します
3. User Define(ユーザー定義)：ユーザーは赤、緑、青色を調整することで、お気に入りの色設定を変更できます。

注
加熱されている間、物体によって放射された光の色の測定。この測定は、絶対温度目盛り(ケルビン度)によって表されます。2004Kなど低いケルビン温度は赤で、9300Kなどの高い温度は青です。6504Kでの中間温度は、白です。

Q9: LCDモニタをPC、ワークステーション、Macに接続できますか？
A: はい、できます。すべてのPhilips LCDモニタは、標準のPC、Mac、ワークステーションに完全に対応しています。Macシステムにモニタを接続するには、ケーブルアダプタが必要です。詳細については、Philips販売店にお尋ねください。

Q10:Philips LCDモニタはプラグアンドプレイ対応ですか？
A: はい。モニタはWindows 11/10/8.1/8、Mac OSXでプラグアンドプレイに対応してます

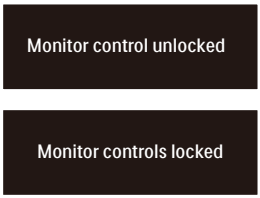
Q11:LCDパネルの画像固着、または画像焼き付き、後イメージ、ゴースト像とは何ですか？
A: 長時間静止画像を連続して表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
LCDモニタが変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。

警告
ひどい「焼き付き」または「後イメージ」または「ゴースト像」症状は消えずにのこり、修理することはできません。これらによる損傷は保証には含まれません。

Q12:私のディスプレイがシャープなテキストを表示せず、ぎざぎざのある文字を表示するのはなぜですか？
A: LCDモニタは3840 x 2160@60Hzのネーティブ解像度で最高の機能を発揮します。最高の表示結果を得るには、この解像度を使用してください。

Q13:ホットキーをロック/ロック解除する方法？
A: ホットキーをロック/ロック解除するには、➡ を10秒間押してください。そうすることで、下の図のように「注意」ポップアウトを監視し、ロック/ロック解除ステータスを表示されます。



Q14:EDFUについて記載された重要な情報マニュアルをどこで入手できますか?
A: 重要な情報マニュアルは、Philipsウェブサイトのサポートページからダウンロードできます。

9.3 Multiview FAQ

Q1：PIP サブウィンドウを拡大できますか？

A: はい、できます。3 つのサイズから選択できます。[Small](小)、[Middle](中)、[Large](大)。➡を押して OSD メニューに入ることができます。[PiP / PbP] メインメニューから優先する [PiP Size](PiP サイズ) オプションを選択してください。

Q2：ビデオから独立して、オーディオを聴くにはどうすればいいのですか？

A: 通常、オーディオソースはメインのピクチャソースにリンクされています。オーディオソースの入力を変更したい場合、➡ を押して OSD メニューに入ることができます。[Audio](オーディオ) メインメニューからお気に入りの [Audio Source] (オーディオソース) オプションを選択してください。

ディスプレイを次にオンにするとき、ディスプレイはデフォルトで最後に選択されたオーディオソースを選択します。これを再び変更したい場合、上のステップを行ってお気に入りのオーディオソースを新しく選択して、「デフォルト」モードにする必要があります。

Q3：PIP/PBP を有効にすると、サブウィンドウがちらつくのはなぜですか？

A: サブウィンドウのビデオソースが i-timing(interlace timing/ インターレースタイミング) になっているためです。サブウィンドウの信号ソースを P-timing(progressive timing/ プログレシブタイミング) に変更してください。

2023©TOP Victory Investments Ltd。無断複写･転載を禁じます。

この製品は、Top Victory Investments Ltd.によって製造され、その責任下で販売されており、Top Victory Investments Ltd.は、この製品に関する保証人です。PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン: 27E2F7901E1T